

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	法学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保
小項目	9.0.5 研究倫理を遵守するために必要な措置をとっているか。
要素	研究倫理に関する学内規程の整備状況 研究倫理に関する学内審査機関の設置・運営の適切性

○2009年度からの目標

1. 法学部資料室の図書・雑誌の収納方法およびレイアウトの改善をする。また開室時間の延長を検討する。
2. TAの採用数を現在よりも増やして学生の多様な要求に対応できるようにする。
3. 教材作成、試験問題作成用の録音ブースを設置することで学生の外国語運用能力の育成をはかる。
4. 学部単位の会議数および会議所要時間を現在より削減して研究時間を確保する。とくに長時間にわたる教授会は回数の削減とともに2時間以内に終了できるようにする。

○指標

1. 「法学部資料室の図書・雑誌の収納方法およびレイアウトの改善状況（新たに確保できたスペースの広さ）および開室時間の延長の有無」
2. 「前期課程大学院生からのTA採用数」
3. 「録音ブース設置の有無」
4. 「会議数、会議時間の削減状況」